

## 「資材警戒システム」の開発について (特許出願中)

東光電気株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 布野 俊一)は、従来から非接触ICカードを使った入退管理システムや、敷地外周部の侵入監視システムなどのセキュリティ製品を販売しておりますが、この度、屋外に保管(野積み)された資機材の盗難防止のため、盗難を検知するセンサネットを使用した「資材警戒システム」を開発し、2008年1月より販売を開始致します。

このシステムは資機材にセンサネットをかけるだけで、盗難時のネットを取り除く行為を検知し、管理者への通報、警報を発生させ、建設資機材等の盗難を防止する装置です。

### 1. 開発の背景

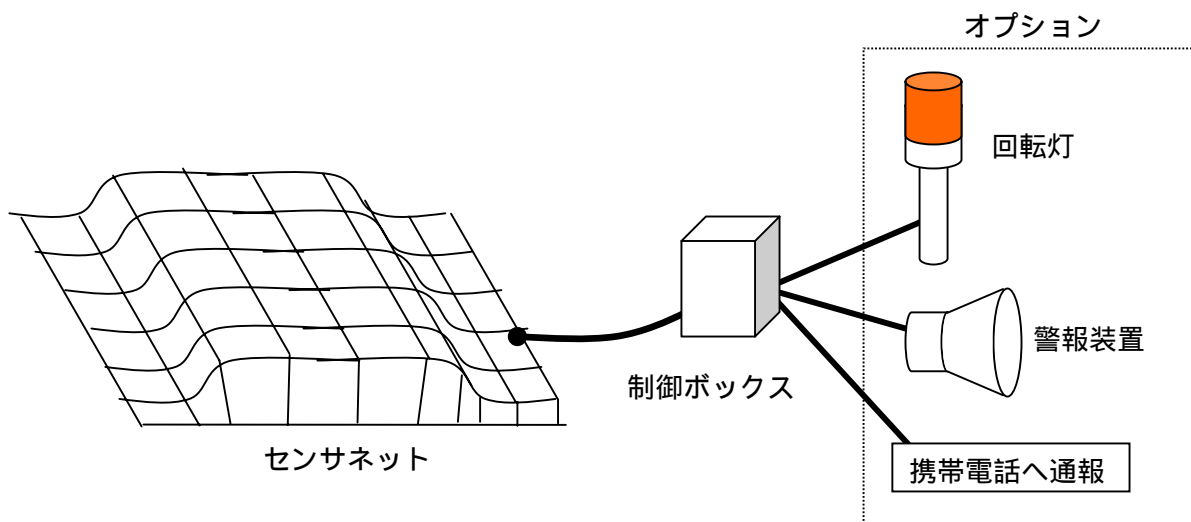
近年、原材料や資材の価格高騰などから、主に屋外で保管している建設資機材の窃盗事件が多発しており(2006年の金属類窃盗数は約5700件、被害総額は約20億円)盗難への対策ニーズが高くなっております。特に建設現場では多くの方が利用することから難しいシステムではなく、使い易く解かり易いシステムであることや、様々な形・大きさの資機材に適用できる、柔軟性の高いシステムであることなどが求められております。

このため、東光電気では、豊富な納入実績のある侵入監視システムの技術を応用し、屋外に保管された資機材の盗難防止として、新たに「資材警戒システム」を開発・商品化しました。

### 2. システム概要

#### (1) 構成

「資材警戒システム」は、盗難時のネットを取り除く行為を検知するセンサネットと、誤報(3.(5)項参照)を判別し通報する制御ボックスで構成しております。オプションとして威嚇装置(回転灯、スピーカ)や、携帯電話への通報、拡張ネット、設置用架台を用意し設置場所に応じた組合せが可能です。



## (2) 異常検知

盗難時のネットを取り除く行為やセンサケーブルを切断した場合、及び装置の電源を切断した場合に異常として検知し、威嚇装置への出力と携帯電話への通知、更に接点出力（C接点1点）が行えます。

## (3) 他システムとの連携

ネットワークカメラや録画装置などと組み合わせて、異常時の映像を記録する事ができます。



## 3. システムの特長

### (1) 設置・収納が簡単！

保護対象にネットを被せるだけで、警戒スタート。制御ボックスは持ち運び可能で、ネットも収納が簡単です。

### (2) 屋外設置が可能

センサネット、制御ボックスは屋外に設置することが出来ます。

### (3) 監視範囲の拡張が簡単！

標準ネット（2m×10m）に、拡張ネット（5枚）を増設する事が出来ますので、監視範囲を容易に拡張することが出来ます。

### (4) 携帯電話への通報が可能。

異常を検知すると、携帯電話に通知する事が出来ます。

### (5) 誤報対策

ネットを取り除く行為以外の誤報（風、動物のいたずら、ボールや空き缶等の衝突）は、最適な判定アルゴリズムの採用により、除外します。

## 4. 用途

- 工事現場・資材置き場等での鉄板、銅線、電線などの盗難監視
- 工場等の敷地内や倉庫等での製品、部材などの盗難監視
- 農産物、水産物集積場などでの盗難監視
- 自動車用品店、ホームセンターなどでのアルミホイール、タイヤなどの盗難監視

<問合せ先>

東光電気株式会社

システム事業本部 E・Sソリューション部 ソリューション営業グループ

TEL： 03（3451）5247

E-mail： [essoulution@tokodenki.co.jp](mailto:essoulution@tokodenki.co.jp)

<ホームページ> <http://www.tokodenki.co.jp/>

以 上